

のびやか

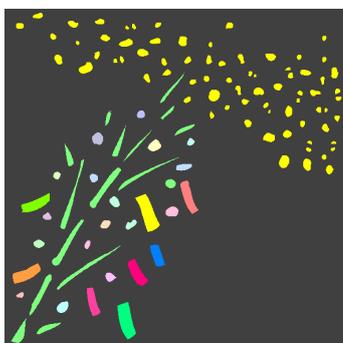
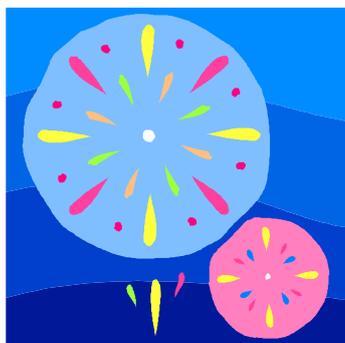


51号



肢体不自由児棟
なのはな棟
七夕飾り

短冊に願いを書いて、笹に飾り付けを行いました。
ささやかで微笑ましいお願いや、中には「高価なゲーム機が欲しい」など、それぞれ個性のある短冊が飾られました。
中には1枚では足りないという子もいました。みんなの願いが叶うといいですね。
(支援員：秋山)



第11回 青い鳥夏まつり

毎年恒例となっている「青い鳥夏まつり」が、8月28日（日）に行われました。晴天にも恵まれ、多くの方に参加していただき、会場はたくさんの笑顔があふれていました。また、「東日本大震災」の被災地への募金にも、たくさんのご協力いただき、ありがとうございました。（まつりの様子は次号で紹介させていただきます）

朝晩過ごしやすくなり、秋の気配を感じる季節になりました。発行が遅れ、夏の取り組みをお知らせする予定が、夏の思い出になってしまいましたが…。もうしばらくは残暑が続きます。体にはくれぐれもお気をつけください。

目次：

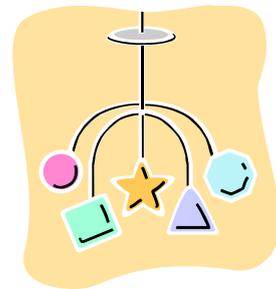
特集「小児科から」	2
装具業者さんより ワンポイントアドバイス	3
地域の事業所の紹介	4~5
入所部門	6~7
読書コーナー	7
掲示板	8

『周生期脳障害について』

～第2話～

青い鳥医療福祉センター

小児科医長 橋本真帆



今回は周生期脳障害の原因として多い「仮死」についてお話させていただこうと思います。

赤ちゃんはお母さんのおなかのなかにいるときには臍帯（へその緒）を流れる血液によってお母さんから栄養や酸素をもらっています。この状態が何らかの原因によって阻害されると、赤ちゃんへ送り込む酸素が減少し、脳や他の臓器が酸素不足の状態になってしまい元気なく生まれてくることがあります。

赤ちゃんがおなかの中にいるときに元気がなくなることを胎児仮死徴候と言います。お母さんは胎動の減少などによって気づくことがありますが、客観的に評価するためにはおなかに分娩監視装置というものをつけて胎児心拍の低下の具合をモニターし判断することができます。胎児の心拍が陣痛とどのように関係しているかによって、赤

ちゃんが苦しくて危険な状態か、または陣痛によって一時的

に臍帯が圧迫されているだけの状態なのか、などと推測することができるのです。分娩監視装置によって赤ちゃんが危険な状態にあると判断されると、急いでおなかの中から出してあげて考えることとなります。この場合、緊急の帝王切開がされることも多く見られます。

赤ちゃんがお母さんのおなかから出てきた後は、出生から約1分後と5分後に心拍数、呼吸状態、筋緊張の度合、反射、皮膚の色などによって元気の程度を評価します。この評価法をアプガースコアと呼んでおりそれぞれの項目につき0点から2点で評価します。施設によって多少異なりますが、多くの場所では合計10点満点中6点以下であった場合を新生児仮死と呼んでいます。

＜アプガースコア＞

点数	0	1	2
心拍数（ /分）	なし	100以下	100以上
呼吸	なし	弱い泣き声 不規則な浅い呼吸	強い泣き声
筋緊張	だらりとしている	いくらか四肢を曲げる	四肢を活発に動かす
反射	反応しない	顔をしかめる	泣く 咳、嘔吐反射
皮膚の色	全身蒼白または暗紫色	体幹ピンク・四肢チアノーゼ	全身ピンク

アプガースコアが低いほど仮死の状態は重く、特に5分後のスコアが低い場合は赤ちゃんのその後の状態に影響が強く出ると考えられています。

仮死の原因としては前置胎盤など胎盤が子宮の入り口にかぶさっているために、子宮口が開くと胎盤から大量の出血がおこり赤ちゃんへの血流が減少してしまうものや、常位胎盤早期剥離など胎盤が出産前に子宮から剥がれて血流が減少してしまうものがあります。また臍帯が赤ちゃんの頸に

巻きつき、脳への血流が減少してしまうもの、陣痛により臍帯が圧迫されて血流が減少するものなど、いろいろなものがあります。

赤ちゃんへの酸素供給が阻害される時期、程度、持続時間などによってその赤ちゃんがうける障害の程度は異なります。

今回は脳への酸素が不足したために生じる様々な病態についてお話させていただきたいと思いません。



◆◆装具業者さんよりワンポイントアドバイス◆◆

『靴型装具』について
(有)アルテックブレース 佐々木 浩一 氏

前号までは「子どもの靴の選び方」について紹介してきましたが、今号では「靴型装具」について紹介させていただきます。「靴型装具」は、主に足の変形矯正、痛みを和らげるために使用する目的で使われます。

◆靴型装具の種類

靴は足を覆う高さによって長靴・半長靴・チャッカ靴・短靴に分けます。

◆長靴

ブーツの様に高さがふくらはぎの3分の2位までかかるもで、紐・ファスナー・マジックテープで締めるようなものです。



◆半長靴

ショートブーツのようにくるぶしを覆う高さのもので、紐・ファスナー・マジックテープで締めるようなものです。



◆チャッカ靴

バスケットシューズのようにくるぶしの高さくらいまでの高さのものです紐・マジックテープで締めるようなものです。

◆短靴

一般の靴の高さでくるぶしの高さより低い靴です。



◆整形靴

医師の処方に基づき疼痛のない圧力分散、変形の矯正などを採寸・採型をしてレディーメードの靴を用いておこなう。

◆特殊靴

既製の靴では対応できない変形した足部に対し、足の型を取り特定の患者に対し適合させた靴。



「装具業者さんよりワンポイントアドバイス」を掲載してきましたが、今号で終了となります。長い間、ありがとうございました。



地域の事業所紹介 Part12

児童デイサービスnatsu（名古屋市昭和区）

今回は2グループに分かれて、平成22年8月に開所された「児童デイサービスnatsu」を見学させていただきました。

重度重複の障がいがある子どもたちを受け入れてくれるデイサービスがなく困っていた母親たちが、「施設がないのだったら自分たちでつくろう」と思い立って、別の障がい者施設に勤めていた鈴木由夫理事長とともに平成22年4月に「NPO法人ふれ愛名古屋」を発足させたそうです。

「ふれ愛名古屋」は居宅介護事業所と移動支援事業所とともに、児童デイサービスを運営されていて、立ち上げたお母さん方が、役員として運営にも携わったり、職員として働いたりしています。鈴木さんは「お母さんが一番の専門家」と話してくださいました。

「natsu」は、地下鉄鶴舞線「川名」駅から徒歩10分程度の住宅街にあります。訪問すると鈴木さんが出迎えてくださり、部屋を案内してくださいました。3階建てマンションの3階にあり、マンションのオーナーの方が将来の隠居部屋として使用するために、バリアフリーで設計されたそうです。大きな窓から陽射しが入り、木の温かみにあふれた、とても使いやすそうな部屋でした。

「natsu」は、事業者と利用者という考え方ではなく、子どもたちの笑顔と未来を創るために一緒に考え歩み作っていくという想いを大切にされているそうです。

また、鈴木さんは災害ボランティアとしての経験もふまえ、自家発電装置、非常時用の水タンク、テントなどを完備していて、大きな災害が起こった時に重度重複の障がいがある子どもたちが困らないような体制作りにも尽力されています。

「natsu」は、子どもたちの自主性や意志、心の「ふれあい」を大切にするため、テレビは置かない方針とのこと。絵本やCDを使い、手作りの遊びを工夫しています。お風呂も入る楽しみを味わうため、機械浴ではなく、マンツーマンの同性介助で「ふれあい」を大切にしているそうです。

そんな話を聞いていると、子どもたちが「natsu」にやってきました。真夏の暑さの中の来所で、まずはそれぞれが水分補給。

今日のプログラムは音楽療法。先生の奏でる楽器に子どもたちは笑顔で反応していました。子どもたちの好きな楽器がいろいろ出てきて、みんなとても楽しそうでした。話すことはできなくても、語りかけられることは大好きで、表情や合図で気持ちを伝えてくれる子どもたち。そんな子どもたちの気持ちを理解することが第一歩であると教えられました。



今、とても楽しそうに過ごしている子どもたち。鈴木さんは、子どもたちの未来も考えています。中学生になると児童デイサービスを利用できない地域もあり、中学生になると「natsu」に通えなくなってしまう子もいます。自立支援法改正

で、中・高校生も利用できる「放課後等デイサービス」事業となるまでは、無認可ですが、中学生以上の子どもたちが利用できるデイサービスの開設も考えているそうです。また、短期入所事業の構想も練られています。鈴木さんの考える短期入所事業は単なるレスパイトではなく、子どもたちの自立訓練を目指しています。いつも家族と一緒にではなく子どもが一人で過ごすことができるようになること。それはいずれ大人になった時、いつまでも家族が介護するのではなく、福祉サービスを利用して自立していく、そのための練習であると考えられています。そしてその時期が来るまでに、重度障がい者の地域共同ホームの設立も目指しているそうです。プランとしては、4LDKの間取りで3人の重度障がい者がそれぞれ個室で暮らす。24時間体制で支援者たちがそのホームで生活介護を行う。家族が支える在宅でもなく、大勢の利用者が入所する施設でもなく、地域で福祉サービスを利用しながら障がい者が自立して暮らしていくことと、それができる環境を整えること、そんな夢を鈴木さんは熱く語られました。

もちろん、理想を実現するためのハードルは高

く、解決しなければならない問題はたくさんあります。たとえば、資金、職員の確保、幅広いニーズに応えるための体制づくり。資金面では行政機関等への補助金申請に奔走され、NPOバンクからの融資も受けたりされているそうです。そしてお母さんやお父さん、地域の人々など100名以上の会員（賛助会員含む）が支えています。しかし、これから子どもたちの想いを実現するためには、まだまだ人が足りない。スタッフも確保しなければならないし、ボランティアで助けてほしいとも話されていました。

大きな夢を掲げる「natsu」、皆さんならきっと実現されていくのだろうと感じるほどのパワーがみなぎっていました。鈴木さんやお母さん方の話からは、他の地域でも困っている子どもやお母さんはたくさんいて、そんな人たちの気持ちに寄り添い共感できる人や場所が広がってほしいという思いが伝わってきました。そして、私たちもまたその一助として期待されていると感じました。

（療育支援課 西口）



◆児童デイサービスnatsu（なつ）◆

<活動時間>

月～金 15:00～17:00

土・日・長期休暇 10:00～15:00

<定員>

10名

<関連事業所>

- ・居宅介護事業所haru（はる）
- ・移動支援事業所haru（はる）

♪お問い合わせ先♪

特定非営利活動法人 心れ愛名古屋

住所：〒466-0848

名古屋市昭和区長戸町5-44 荒木ビル3階

電話：052-841-2877

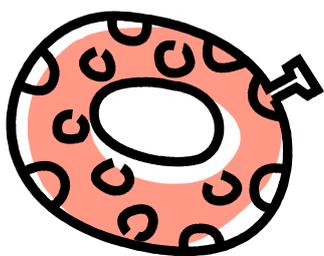
FAX：052-893-7784

入所部門

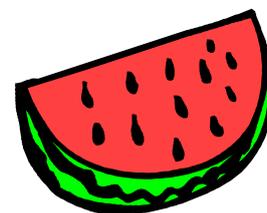
重症心身障害児(者)棟 「ひまわり西棟」

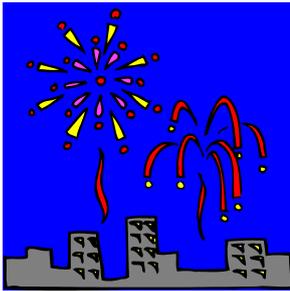
♪ 夏の療育活動 ♪

外出する機会が少ない方も多いため、できるだけセンターの中で季節を感じて頂けるような活動を心掛けています。その一つに、夏のプール療育活動があります。センターの1階には5m×5m位のプールがあり、毎年多くの利用者が入っています。プールに入ることでも心も体も緊張がほぐれ、普段では見られない笑顔が見られます。



夏を感じる活動として、スイカ割りや花火大会も行います。スイカ割りでは普段調理される前の野菜や果物を見る機会が少ないので、大きな丸いスイカを見ることも利用者の刺激になると考えています。また普段の食事ではスイカは出ないため、食べるのを楽しみにされている利用者も多いです。





花火大会は2階のベランダで行います。花火は光と音が楽しめる活動です。打ち上げ花火から手持ち花火までいろいろな種類の花火を見ますが、笑顔で見つめている方もいれば、音にびっくりしてしまう方もいます。すこしでも日々楽しく過ごせるよう、このような活動を1年を通して行っています。たいへんの賑やかな会となりました。

(保育士 安藤)

読書コーナー

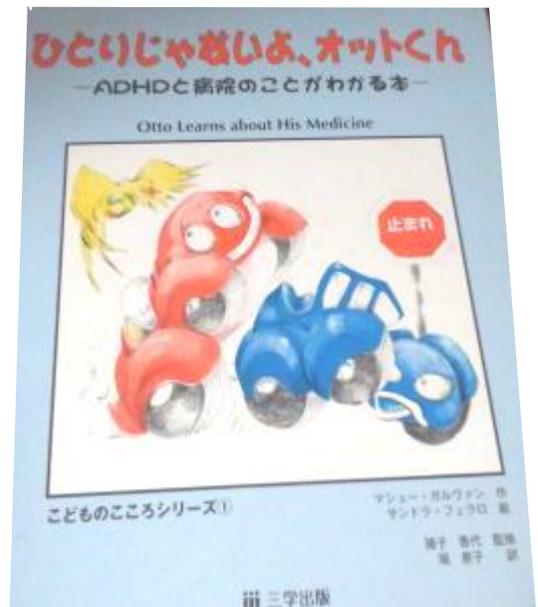
「ひとりじゃないよ、オットくん

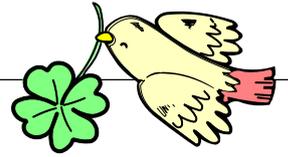
-ADHDと病院のことがわかる本-

マシュー・ガルヴァン/作 サンドラ・フェラロ/絵
猪子香代/監修 堀恵子/訳

この本はアメリカ心理学会から出版されている本を日本の子ども用に訳したものです。4歳から8歳くらいの子どものために書かれています。ADHDと診断され、子どもにもそれを説明するときや、服薬の必要性を伝える場合に利用できるのではないかと思います。子どもや親が自分を否定する事なく誇りを感じながらサポートを受けて頂く事が、この本の訳者である臨床心理士の堀恵子さんの願いです。

(リハビリ ST青木)





外来診療のご案内

	月	火	水	木	金
午前 9:00 ~ 12:00	リハ科(岡川) 小児科(麻生) 児童精神科(野邑) <第1・3・5> 歯科(伊藤)	小児発達外来(安井) 児童精神科(松平) <第1・3・5> 児童精神科(小野) <第2> 児童精神科(鈴木)	リハ科(岡川) 小児科(麻生) 小児発達外来(安井)	整形外科(栗田) 耳鼻科(別府) 児童精神科(早川) <第2・4>	整形外科(栗田) 小児科(安井) 小児科(橋本) <第1・3・5> 小児科(東) <第2・4>
	耳鼻咽喉科(別府) 児童精神科(野邑) 歯科(伊藤) 外来新患カワルソ	小児科・染色体外来 (山中) <第2・4> 児童精神科(松平) <第1・3・5> 児童精神科(小野) <第2> 児童精神科(鈴木)	リハ科(岡川) 小児発達外来(安井) 泌尿器科(斎藤) <原則；第2・4> 眼科(高井) 歯科(岡本)	児童精神科(早川) <第2・4> 歯科(河合) <毎月1回>	児童精神科(鈴木) <第1・3・5> 小児外科 (小児外科医) <第3>

○平成23年8月1日現在の外来診療です。
 ○受診を希望される方は、電話で予約してください。

📌 ホームページもご覧ください
<http://www009.upp.so-net.ne.jp/aoitori/>
 ＊過去の「のびやか」も掲載されています。



青い鳥医療福祉センター

- 名鉄犬山線 中小田井駅下車(新名古屋駅から犬山方面普通電車に乗り、4つ目の駅、所要時間5分)徒歩で約3分。
- 地下鉄鶴舞線 上小田井駅下車 徒歩で約13分。
- 一宮方面からは、国道22号を「古城1」で左折、4つ目の信号「中小田井4」を右折し、2つ目の信号を左折してすぐ左側。
- 新JCT方面からは、東名自動車道 山田東インターを降りて約10分。
- 岡崎市方面からは、東名自動車道 平田インターを降りて約5分。